

# 第3回 住民対話集会

# 「魅力ある場所」 を「魅力ある場所」に



5月11日(日)、中央公民館 視聴覚室で「第3回 住民対話集会」を開催しました。

第1部では、各常任委員会より、3月定例会の報告を行いました。

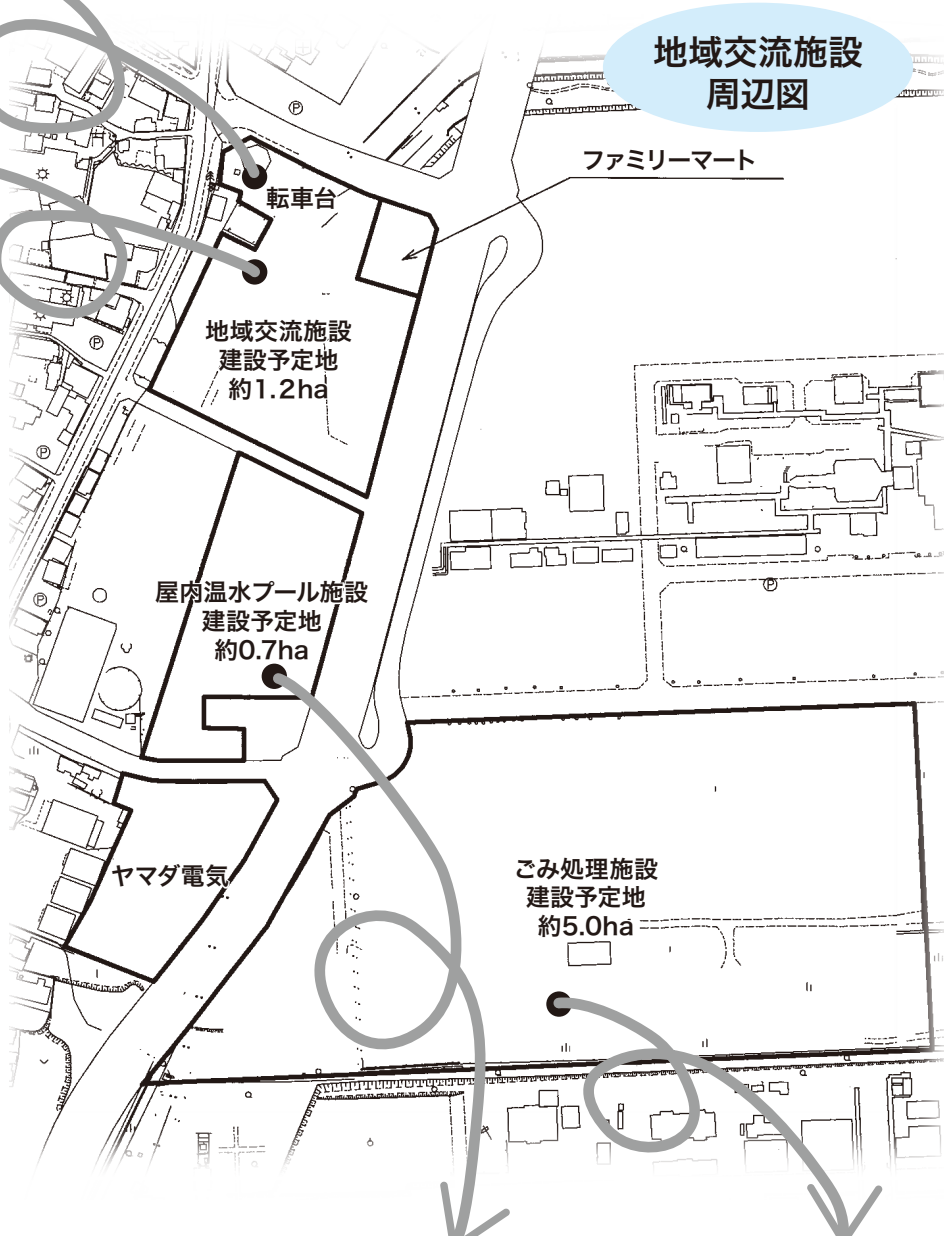
第2部では、「魅力ある駅前周辺をまちづくりについて」をテーマに、意見交換を行いました。

第3部では、アンケートに答える個別対話を実施しました。



## 第2部 「魅力ある駅前周辺のまちづくり」

### 地域交流施設 周辺図



「広域ごみ処理施設・  
屋内温水プール」  
建設に向け前進」

2市3町より構成される知多南部広域環境組合が建設する広域ごみ処理施設は、今後、環境影響評価を行い、その後、建設工事に着手し、平成34年4月の使用開始をめざしています。

屋内温水プールは、議会に屋内温水プール建設調査特別委員会、住民の方による屋内温水プール建設検討委員会が設置され、調査、研究が始まりました。

6月議会閉会時に、町長は、「屋内温水プール建設を進める「今がその時期である」と判断し、まだまだ多くの課題もあるが、屋内温水プールの建設に向けて取り組んでいく。」と述べています。



「転車台」  
〜日本唯一の貴重な遺産〜

JR武豊線は、東海道線建設のための資材運搬を目的として、明治19年3月に愛知県下最初の鉄道として開通しました。

転車台は、蒸気機関車の向きを前後に変えるために設置され、昭和2年に建造、レールが直角二線式という大変珍しいものです。

小学生により平成11年に発見されるまで、埋もれ眠り続けていた「先人達の叫び」、それがこの転車台です。

全体計画平面図



「地域交流施設」  
〜人と人のつながりの場〜

地域交流センターは、鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建てで歴史・産業の展示コーナーを計画しています。

商工会事務所や観光案内所を1階におき、2階には多目的ホールや会議室などが設置される予定です。

まちの駅（仮称）は、鉄筋コンクリート造平屋建てで、出店店舗などは未定ですが、飲食店や物販店などを計画する予定です。

多目的広場は、全面芝生張りで幼児用の遊具の設置も予定され、平成27年度より使用開始予定です。

また、駐車場は、普通車用109台、身障者用3台、大型バス用4台のスペースもっています。

エコステーションと転車台を除く施設は指定管理者・商工会が運営する予定です。

### 第3部

**問** 60周年事業の効果は明確にできるのか。

**答** 効果はこれから出てくると考えている。町民全体で考えて、より効果の出るようしていきたい。みんなで盛り上げていきたいので、協力をお願いしたい。

**問** 子どもを増やすための子育て支援が特に必要だと思いが、予算を手厚く配分できないか。

**答** 当町は十分に予算を割り当てている。他の自治体より上だと理解している。

**問** 市街化区域と調整区域を明確にして欲しいが、何が違うのか。

**答** 大きな違いは、調整区域は厳しい建築の制限がある。市街化区域には公共下水道があるが、調整区域にはない。